

葛川をきれいにする会 —活動記録集—

第3号

(平成17年4月～平成18年3月)



2005.10.1星様学園の生徒・先生が参加して清掃
新田橋にて

葛川をきれいにする会編集委員会

～ 目 次 ～

まえがき 1
作業報告 2～3
活動の様子 4
底生水生動物調査 5～7
葛川の水質検査 (COD) 8
葛川等の水質検査 (BOD) 9
定時清掃・調査外の活動10～13
総会・定例会14～15
会員懇親行事16
会則17～20
以前の葛川のはたらき (1), (2)21～27
言伝え『巖島神社と鏡』28
会員名簿29
関係先 (記録集第2号のつづき)30
平成17年度決算書31
平成18年度清掃スケジュール32
葛川町内地図33

～まえがき～

当会“活動記録集第3号”が出来ました。

今年はずでに5年目に入り、会員の高齢化も進み、今や二宮中学校、二宮西中学校の中学生会員が重要な戦力となっております。子供たちの加入、参加は大変嬉しいことで今後は学生会員、一般会員共の増強が課題となるでしょう。本年は会員増強年間としたいと思いますので、現会員は参加、入会、勧誘の努力をお願いします。

一方、昨年発足した“葛川美化推進連絡協議会”は私たちの会が一昨年秋に二宮町環境課にお願いして、会への補助金はいらぬから、それより葛川添いの自治会や町、県、関係先、ボランティア団体の結束をして総力をあげて葛川の再生を実現しようということで出来た会です。本年は予算もとれ、いよいよ第2段階に入りました。この事実は大変重要です。川下からの団体づくりとその団体の方から行政への参加、協力を促し、協働、実践へという正に民主主義の本来の姿、形だからです。

一人一人が町や地域、国、世界のことなど公私の全てを真剣に考え見直し、協力行動しなければもう未来はないと思います。たとえ小さな力でも“ちりも積もれば山となる”であります。片や、“無理が通れば道理引込む”ということでもありますので、出来ることを出来るだけ、出来る時にということがボランティア活動の根幹であります。ただ“継続は力なり”であり目的、目標はしっかり共有し、一定の責任は果たし、行動したいと思います。今後も頑張ります。

平成18年4月吉日

葛川をきれいにする会
初代代表 向後孝明

①作業報告

イ、川中、川堤報告

年度の回数	通算	日時	場所	参加者数	作業記録等
1	58	平成17年 4月2日 (土) AM9:30~ PM11:00	田端橋~下 北根橋(中 井町との町 境) (集合場 所:下北根 橋)	18名 (大人 14人子 供4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:7袋・金属:1袋・セトモノ:1 袋・ビンガラス:1袋 ・その他:ミニバイク 鉄くず1山 タイヤ1 【補足事項】
2	59	平成17年 4月16日 (土) AM9:30~ PM11:30	下北根橋~ 前田橋(旧 一色小学校 分校近く) (集合場 所:前田 橋)	16名 (大人 11人子 供5人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:13袋・樹脂ゴミ:袋・金属山: 山・セトモノ:1袋・ビンガラス:1袋 ・その他:タイヤ 自転車 鉄くず 電池 【補足事項】
3	60	平成17年 5月21日 (土) AM9:30~ PM11:30	小田原厚木 下~葛川橋 (集合場 所:葛川 橋)	15名 (大人 12人子 供3人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:16袋・缶3袋・ビンガラス1袋 ・その他:.. 【補足事項】
4	61	平成17年 6月18日 (土) AM9:30~ PM12:00	軒吉橋~萬 年橋 (集合場 所:萬年 橋)	9名(大 人9人 子供0 人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:8袋・缶:3袋・ビンガラス:1袋 ・その他:鉄くず1 【補足事項】
5	62	平成17年 7月2日 (土) AM9:30~ PM11:00	萬年橋~妙 見橋 (集合場 所:妙見 橋)	14名 (大人 11人子 供3人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:13袋・ビンガラス:1袋 ・その他:鉄くず1山 鉄パイプ4 【補足事項】
6	63	平成17年 7月16日 (土) AM9:30~ PM12:00	妙見橋~花 月橋 (集合場 所:花月 橋)	12名 (大人8 人子供 4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:11袋・金属袋:5・セトモノ: 袋・ビンガラス:1袋 金属山1 【補足事項】
7	64	平成17年 9月3日(土) AM9:30~ PM11:00	花月橋~内 輪橋	15名 (大人 10人子 供5人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:11袋・金属山:1山・ビンガラ ス:1袋 ・その他:.. 【補足事項】

8	65	平成17年 9月17日 (土) AM9:30~ PM12:00	内輪橋~新 田橋	11名 (大人7 人子供 4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:14袋・金属屑:1山・ビンガラ ス:1袋 ・その他: 【補足事項】
9	66	平成17年 10月1日 (土) AM9:30~ PM11:30	新田橋~鍛 冶屋橋	21名 (大人 10人子 供11 人)	【作業記録】・燃えるゴミ:13+4袋・鉄く ず:1+1 セトモノ:1袋・ビンガラス:1袋 缶:4袋 ・その他: 【補足事項】星槎学園の生徒5名 先生1名の参 加
10	67	平成17年 10月15日 (土) AM9:30~ PM11:00	鍛冶屋橋~ 塩見橋	8名(大 人5人 子供3 人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:7袋・ビンガラス:1袋・缶:1 鉄 くず:1 ・その他: 【補足事項】
11	68	平成17年 11月5日 (土) AM9:30~ PM12:00	塩見橋~下 浜橋	9名(大 人9人 子供0 人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:4袋・樹脂ゴミ:12袋・金属山: 1山・セトモノ:1袋・ビンガラス:1袋 缶:4袋 ・その他: 【補足事項】
12	69	平成17年 11月19日 (土) AM9:30~ PM12:00	下浜橋~町 境	14名 (大人 10人子 供4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:12袋・缶:1袋 金属 自転車 ・その他: 【補足事項】
13	70	平成18年 3月4日(土) AM9:30~ PM12:30	新西谷戸橋 ~清水橋	17名 (大人 14人子 供3人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:16袋・金属 1袋・ビンガラス:1 袋 ・その他: 【補足事項】
14	71	平成18年 3月18日(土) AM9:30~ PM12:00	清水橋~小 田原道下	20名 (大人 16人子 供4人)	【作業記録】 ・燃えるゴミ:13袋・缶1袋 金属:1山・ ビンガラス:1袋 ・その他: 【補足事項】戻入れ 平成16年3月20日に植樹したソメイヨシノ(5本植 樹したうち2本が残る)が蕾を膨らませていた。 平成17年3月19日に植樹した水仙が花を咲かせて いた。

活動の様子



2005.5.21ごみの分別 小田厚道路



2005.7.2中学生が鯉をつかまえた。その後、葛川に戻しました。



2005.7.2万年橋からゴミを引き上げる



2005.11.5下浜橋で



2005.11.5 下町付近



2005.11.19 下川窪公園前でゴミの分別

第5回 底生・水生動物調査結果

2005. 5. 8
葛川をきれいにする会

採取年月日 2005.5.8(日)

天候 曇り

参加者

梶一成、守屋隆治、藤田尚志、内藤将志、蜂須賀基王

	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
採取場所	一色水田横 フタツメ カワゲラ カワトンボ ヤマトクロスジ ヘビトンボ	秋沢牧場横 赤色ユスリカ	打越川・葛川 合流点手前 赤色 ユスリカ	葛川・打越川 合流点手前 コカゲロウ コガタシマ トビゲラ(蛹)	田代川・葛川 への合流点 赤色ユスリカ	葛川・田代川 合流点手前 コカゲロウ 赤色ユスリカ	葛川・田代川 合流後 赤色ユスリカ	田端橋上流 ウルマシマ トビゲラ 赤色ユスリカ	下浜橋上流 赤色ユスリカ	プリンス ゴルフ場横 アユの姿 見えず
底生動物										
貝・甲殻類	カワニナ サワガニ	ザリガニ ミズムシ			フロリダマミズ ヨコエビ			ミスムシ		
魚類		ドジョウ		ヨシノボリ			ヨシノボリ2匹 コイ2匹	アブラハヤ 30匹	オイカワ ヨシノボリ タモロコ コイ	
その他		シマイシビル		シマイシビル						
水温 ℃	14.5	18.2	18.8	17.8	18.2	18.4	16.8	19.3	19.5	19
COD	2.8	6.6	6.2	9.6	13.6	8.6	9	3.6	9	8.2

- ◎ 前日の雨で川が洗われ、観察された底生動物の数は多くなかった。
- ◎ 初めて採取したものは④地点で「フロリダマミズヨコエビ」である。フロリダマミズヨコエビは外来種でその広がり状況を調査しているグループがあり、そこに報告した。
オイカワは従来棲んでいた魚であるが水質の悪化とコイの繁殖で姿を余り見掛けなくなり一昨年8月にプリンスゴルフ場横で確認されて以来2匹目である。
- ◎ どじょうの体長7cm、全長8cm、ヨシノボリの体長7.5cm、全長8.5cm、アブラハヤの体長5.5cm全長7cm、オイカワの体長5cm、全長6cm、コイの体長9cm、全長11.5cm
- ◎ 昨年アユが観察されたプリンスゴルフ場横の瀬で、今年は観察されなかった。また時期が早い？

第6回 底生・水生動物調査結果

2006. 3. 16
葛川をきれいにする会

採取年月日 2006.3.16(木)

天候 晴れ、曇り

参加者

守屋隆治、藤田尚志、野崎隆夫

採取場所	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
	一色水田横 フタツメ カワゲラ オオカワトンボ グマガトビゲラ	秋沢牧場横 イトトンボ 赤色ユスリカ	打越川・葛川 合流点手前 赤色 ユスリカ	葛川・打越川 合流点手前 赤色ユスリカ	田代川・葛川 への合流点 赤色ユスリカ	葛川・田代川 合流点手前 コカゲロウ 赤色ユスリカ	葛川・田代川 合流点 赤色ユスリカ	田代川上流 ミルンヤンマ 赤色ユスリカ イトミミズ	下浜橋上流 赤色ユスリカ	プリンス ゴルフ場横
貝・甲殻類	カワニナ サワガニ ミズムシ	アメリカザリガ ニ		ミズムシ	アメリカザリガ ニ	ミズムシ		サカマキガイ	ミズムシ	
魚類		アブラハヤ	ヨシノボリ ドジョウ	ヨシノボリ		ヨシノボリ	ヨシノボリ	アブラハヤ	ヨシノボリ3匹 タモロコ	
その他	ヒル	シマイシビル		シマイシビル	ヒル	シマイシビル		シマイシビル		
水温 °C	9.5	11.0	14.0	12.2	12.5	12.0	12.0	13.8	14.0	—
COD	0.6	5.8	3.4	7.4	13.8	7.4	6.8	4.0	8.4	—

◎ 3月に入って気温が上昇してきたので、底生動物も多いことを期待したが、冬の寒さの影響が多くはなかった。

◎ 3月に入って雨は降っているが、葛川の水量は少なめであった。

◎ 採取された生物は以前にも採取したものばかりだった。

◎ 魚類はアブラハヤ、ヨシノボリ、タモロコ、ドジョウが観察された。

水質・水生動物調査地点

葛川をきれいにする会



葛川の水質検査

葛川をきれいにする会調べ

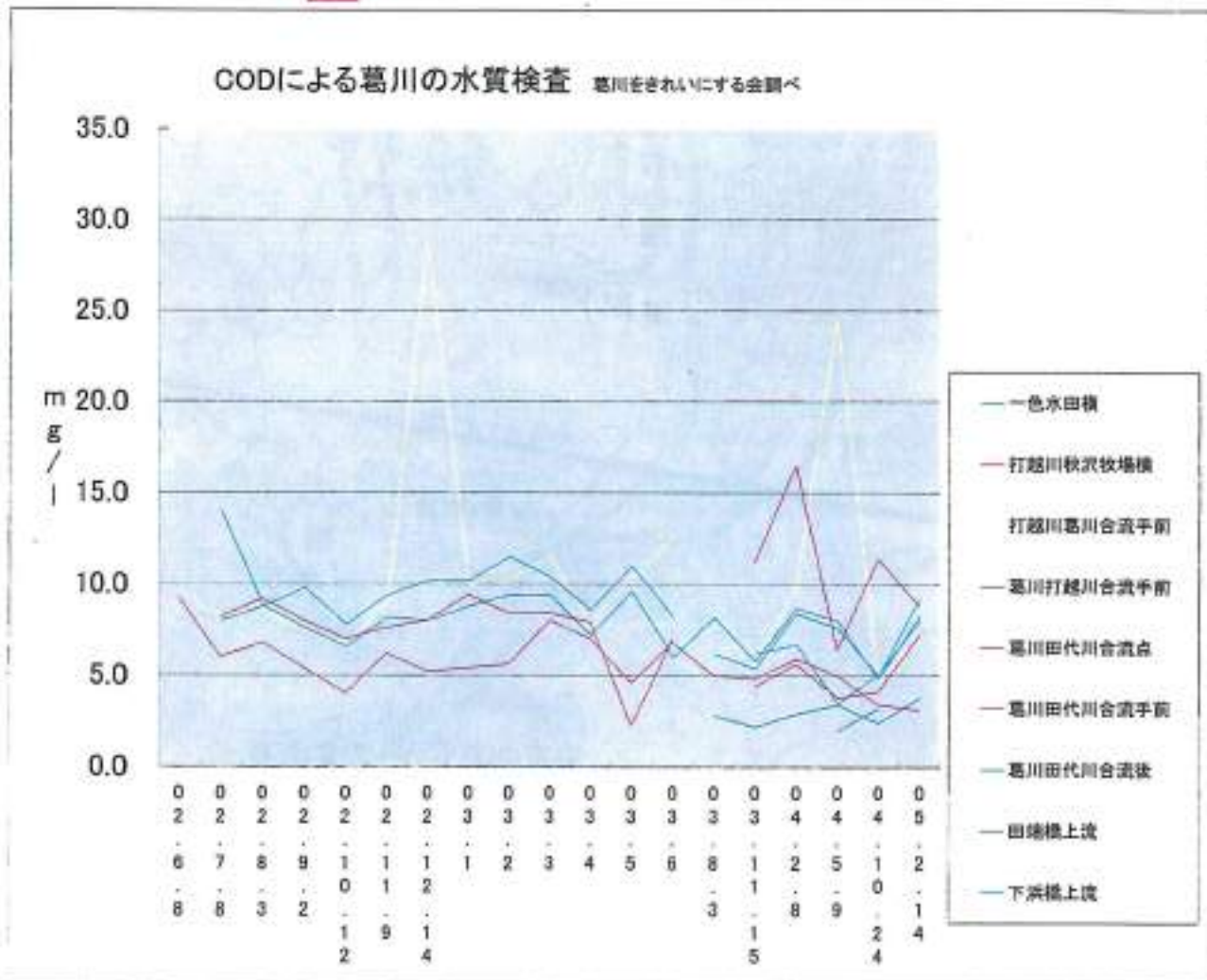
COD (化学的酸素要求量)

mg/l

場所	00.04	00.7.8	02.8.2	02.8.2	02.10.17	02.11.8	02.12.14	03.1	03.2	03.2	03.4	03.5	03.8	03.8.2	03.11.15	04.2.8	04.5.9	04.10.24	05.2.14
0 一色水田橋														3.2			2.9	3.2	
1 打越川秋沢牧場橋	9.2	6.0	8.0	5.4	4.0	6.2	5.2	5.4	5.6	8.0	7.0	4.6	6.8	5.0	4.8	5.9	5.0	3.4	3.1
2 打越川葛川合流平前	9.7	8.2	8.6	7.4	6.8	9.0	26.8	10.0	10.2	11.8	7.8	10.4	12.6		5.8	9.8	24.8	4.7	7.2
3 葛川打越川合流平前		8.0	8.8	7.6	6.6	8.2	8.0	8.8	9.4	9.4	7.2	9.6	6.0	8.2	5.8	8.7	8.0	4.8	8.3
4 葛川田代川合流点															11.2	10.5	6.4	11.4	8.8
5 葛川田代川合流平前		8.2	9.2	8.0	7.0	7.6	8.0	9.4	8.4	8.4	7.9	2.2	7.0		4.4	5.6	3.8	4.1	7.2
6 葛川田代川合流後		14.0	8.8	9.8	7.8	9.4	10.2	10.2	11.5	10.4	8.6	11.0	8.2		6.2	6.7	3.5	5.1	8.0
7 田端橋上流														2.8	2.2	2.8	3.4	2.4	3.8
8 下浜橋上流														6.2	5.4	8.4	7.6	5.0	9.2

BOD数値との対応等から葛川会が独自に設定したCOD値の判断基準

3以下 きれいな
10以上 きたない



葛川等の水質検査(業者委託による二宮町調べ)

BOD(生物化学的酸素要求量)

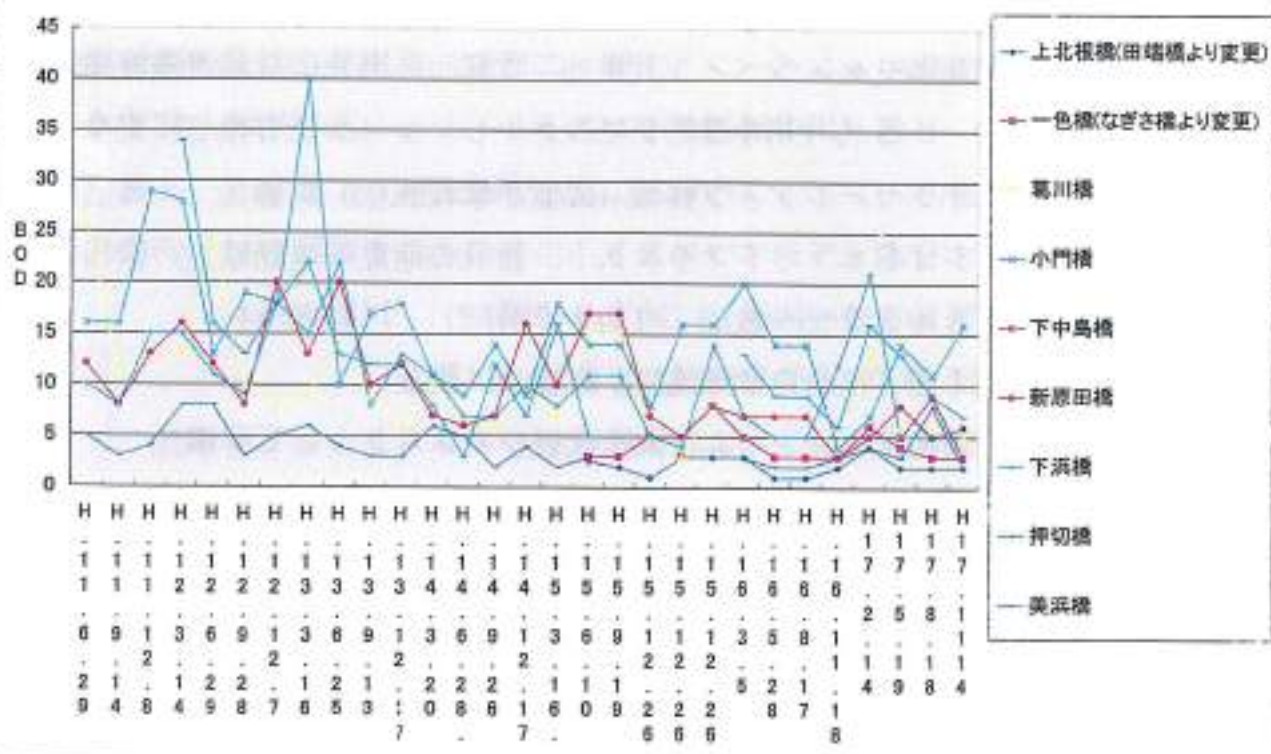
	H.11.1	H.11.14	H.11.28	H.12.14	H.12.28	H.12.11	H.12.25	H.13.8	H.13.22	H.13.5	H.13.19	H.14.2	H.14.16	H.14.30	H.15.13	H.15.27	H.16.10	H.16.24	H.17.8	H.17.22	H.18.5	H.18.19								
上流(二宮町)																														
色橋																														
葛川橋	20	11	13	13	28	10	8	9	14	9	6	10	6	8	10	7	13	15	5	3	8	7	7	7	4	19	6	6	5	
小門橋	16	14	28	28	13	18	18	40	10	17	14	14	9	14	9	18	14	14	8	18	16	30	14	14	4	7	14	11	18	
下中島橋																														
新原田橋	12	8	13	18	13	8	20	13	20	10	13	7	6	7	18	10	17	17	7	5	8	7	7	7	3	5	8	5	6	
下浜橋	10	8	15	15	11	8	18	15	22	8	13	13	7	7	10	8	11	11	0	4	14	7	5	5	12	21	5	5	6	
押切橋	5	3	4	8	8	3	5	6	4	3	3	6	5	8	4	2	3													
美浜橋				34	16	13	10	27	13	13	13	8	3	12	7	14	8													

- 「生活環境の保全に関する環境基準」A類型に当てはまる調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」C類型及びそれを下回る調査結果(右下の表を参照)
- 「生活環境の保全に関する環境基準」E類型及びそれを下回る調査結果(右下の表を参照)

生活環境の保全に関する環境基準 神奈川県

類型	濃度(BOD)	利用目的の適合性
A	2mg/L以下	飲用ろ過等通常の浄水操作で水道用、ヤマメ、イワナ等生態、水産
B	3mg/L以下	高度の浄水操作で水道用、サケ科、アユ等生態
C	5mg/L以下	コイ、フナ等生態
D	8mg/L以下	農業用水
E	10mg/L以下	日常生活上不快感を生じない程度

葛川等の水質検査



定時清掃・調査外の活動

(平成17年度)

- 4/23 ボラ連総会出席 向後代表が会長代行に就任 (6/11退任)
- 5/28 二宮海岸ゴミ0キャンペーンに参加 5名
- 6/2 大磯プリンスホテル職員の葛川清掃に協力参加 4名
- 6/18 二宮町協働のまちづくりフォーラムに自由参加
- 6/30 『二宮町町民参加活動推進条例検討審議会』委員に向後代表が就任
- 7/8 『葛川美化推進連絡協議会』発足 同会委員に向後代表が就任
- 9/22 星棲学園(二宮町二宮)からの求めにより、同学園生徒へ当会の活動内容を説明 向後代表が出向 (同学園先生・生徒6名が10/1清掃活動に参加)
- 10/8 葛川美化キャンペーン準備作業(鯉すくい のデモンストレーション)に参加出動 7名
- 10/8 三役打合せ会 『にのみや環境展』への出典内容決定
- 10/29 葛川美化キャンペーン(主催 二宮町、葛川美化推進連絡協議会)に参加 8名(川中清掃デモンストレーション及び指導、鯉すくい手伝)
- 11/1 二小クリーンアップ作戦(二宮小学校主催)に参加 4名
- 11/10 ラジオ日本・ラジオウエスト、当会の活動を電話取材、向後代表対応
11 15時30分~放送 (約10分間) 1485 kHz
- 11/20 第1回『にのみや環境展』に参加、出展
葛川美化フォーラムに向後代表がパネリストとして参加
二宮町美化表彰式で当会が表彰される
- 12/6 湘南工科大学 社会貢献活動支援室 から 学生の当会の活動への実習希望状況について 現況連絡文書受理(文書写しを本項最終頁に掲載)
- 2/3 二宮小学校3年生の総合学習に向後代表が講師として授業(葛川について) 対象・3年生全員 (次頁にタウンニュースの記事掲載)
- 2/6 二宮中学校1年の総合学習に協力 向後代表が回答
生徒4名のご質問

①葛川をきれいにするために、どのような活動をしていますか。

- ②葛川をきれいにするボランティア活動にどのぐらいの人が参加しているのですか。
- ③どうして葛川をきれいにしようと思ったのですか。
- ④葛川にいる生き物を教えて下さい。
- ⑤葛川の名前の由来はなんですか？
- ⑥これからどんな活動をしていきたいですか。

葛川のこと知りたい

二宮小3年生が総合学習



向後さんの話を聞く児童たち

二宮町立二宮小学校(目黒区)で3日、3年生の総合学習があり、町内の環境ボランティアグループ・葛川をきれいにする会の向後孝明代表が葛川について語った。3年生は社会科の授業やごみ拾いをきっかけに、「きれいになれば川がきれいになるのか」を思案。地元の人に話を聞いて何ができることを探そうと、今回の授業が実現した。

向後さんは葛川の源流や水質と生き物の関係、橋と人口が増えて川に捨てられるごみも増えたことなどを説明。児童からは「昔は泳げるくらい川がきれいだったって本当ですか」「葛川のごみの種類は」「二宮には葛川以外にどんな川がありますか」などと矢張り早に質問があがっていた。

この日は自分の目で、向後さんが3年生に豆をプレゼント。児童たちは校庭に出て豆まきを楽しんだ。

タウンニュース 記事 H.18.2.10.発行



平成17年11月28日

葛川をきれいにする会
代表 向後孝明 殿

湘南工科大学社会貢献活動連絡協議会

主査 田坂さつき



「社会貢献活動」実習について

このたびは湘南工科大学が授業として実施しております「社会貢献活動」において、学生の実習を受け入れていただくことになり、有難く存じます。

本授業はこれからの技術者にとって必須の素養とされる、“技術者としての自分と社会との関わりを理解し、人類の幸福と福祉と技術との関わりを考える能力”を育てるために創設されました。湘南工科大学独自の特色あるカリキュラム作りの一環として実施しております。本授業をとおして、学生が社会貢献活動の重要性を理解し、将来、真に社会に役立つ人間と成長してくれることを願っております。

当科目は、学生の自主性を尊重するために学生の自由選択に任せております。また学部
の学生は授業や実験等必要単位が多く、時間割に余裕がない学生が多いのが現状です。また経済的な事情で、放課後あるいは休日にアルバイトをしている学生も少なくありません。活動内容に魅力を感じていても、地理的・あるいは時間的な事情で、学生の都合が合わないために断念せざるを得ない場合も多々あります。貴台の実習につきましても、今期実習を希望する学生がありませんでした。大変残念に思います。

貴台の実習は、社会貢献活動連絡協議会において教育効果が高いと評価されたものであり、学生にぜひ経験させたいものでございます。来期には希望する学生があることを期待しております。

本年度から社会貢献活動支援室が開室し、実習先との調整は本学のテクニカルアドバイザーがこちらから出向くことになっております。実習時間および内容について、変更等のご要望があれば、どうかお申し出ください。

どうか今後とも実習受け入れをよろしくお願い申し上げます。

以上

発信元機関

湘南工科大学 社会貢献活動支援室
神奈川県藤沢市辻堂西海岸1-25
〒251-8511, Tel. 0466-30-0274.

手塚様, 水澤様

美化感謝状を受賞

感謝状

葛川をきれいにする会殿

貴会は一致協力して地域の
美しい環境づくりに努めその
功労は多大であります
よってここに深く敬意と感謝
の意を表します

平成十七年十一月二十日

二宮町長古澤吉郎



平成17年11月20日 二宮町美化表彰式において受賞

受賞者の活動紹介（主催者・二宮町のパンフレットから）

葛川をきれいにする会は、平成13年10月の設立以来、年間を通じて月に2回定期的に二宮町内を流れる葛川全流域の清掃や河川浄化運動を積極的に進め、地域美化に尽力をしている団体です

総会・定例会

(平成17年 4月 ~ 平成18年 3月)

定時総会

平成17年 4月 9日 (土) 9:30~11:25 於 二宮町社会福祉センター

出席者 出席19名 委任10名 合計29名 (成立)

定時総会時正会員数 44名 (44×1/2 +1=23)

議長 門脇 義昭 様

議題 第1号議案 平成16年度活動報告
第2号議案 平成16年度決算報告
第3号議案 平成16年度会計監査報告
第4号議案 平成17年度活動計画
第5号議案 平成17年度予算

定例会

開催場所 全て、二宮町社会福祉センター

平成17年 6月11日 (土) 9:35~11:20 8名出席

★会費未納者へ問合わせ処理後の 確定会員名簿(6/10 付) 配布
(正会員 38名 賛助会員 19名)

★第3号活動記録集編集委員 決定 向後、野谷、藤田、小林、(4名)

★第3号活動記録集編集の組立て 第2号に準ずることとする

★当会内に『青少年部会』設置について 中学生生徒達に何かをやらせて
後、本人達の意識により手伝うこととする

平成17年 9月10日 (土) 9:45~11:00 5名出席

★平成17年度上期会計報告について 予算に変更を加える事なし

★『葛川美化キャンペーン』に参加、協力することとする

『二小クリーンアップ作戦』に協力することとする

共に要員の出勤が必要 9/17 10/1 の清掃活動時 メモを作り呼掛けることとする

★活動記録集第 3号編集委員会を12/10 開催する 今回の葛川美化キャンペーンについて 役場から資料をもらい掲載すること 又 清掃活動時の写真も入れてほしいので 事務局は用意すること

平成17年12月10日 (土) 9:35~11:00 8名出席

★賛助会員に池田宏様 (妙見) 入会 確認

★新年会開催の諸元を検討 決定 (会場, 時間, 会費, 通知, 受付等)

★活動記録集に葛川の川筋をもっと大きく 鮮明に入れること

★藤田尚志さんが当会の活動を『第12回市民環境活動報告会』へ発表の申込をされたことについて 了承 (神奈川県環境学習リーダー会・神奈川県環境科学センター 共催)

★当会の活動隆盛のための施策発議, 検討 集約して具体的活動の展開に至らず

平成18年 3月11日 (土) 9:40~10:40 10名出席

★第5回定時総会関係事項 : 4/8(土) 10時より, 於二宮町社会福祉センター, 川中清掃スケジュール, 17年度清掃活動報告資料の扱い

★役員改選の対応, 手続き : 全正会員に立候補の意思を問う事, 3/25に役員会を開催し対応する事

★『広報にのみやお知らせ版』に当会の毎月の予定を, 毎月掲載してもらう事を遠慮する, 年度分を纏めて一括掲載してもらう

★来る3/20二宮小学校卒業式に当会メンバー 4名が参列する

★3/25記録集印刷製本協力者は 9名, なお3/18の清掃時勧誘する事, 資材は野谷さんから注文してもらい会計が支払いに行く事とした

以上

会員懇親行事

納涼会

平成17年 8月 6日 (土) 開催 晴天 暑

於 二宮駅北口 秀水亭 12:00 ~ 14:10
18名参加 (大人 13名 学生生徒 5名)

- ◎ 中学生2名が忘れていて欠席、会の途中で電話連絡したが、「アシ」がなくて不参加。
- ◎ 『葛川美化推進連絡協議会』設置文書(7/8付)、同会規約、同会委員名簿、タウンニュース記事切抜き、のセットを参加者へ配布。
- ◎ 正会員名簿補正分(H.17.8.1付)、電話連絡網図(H.17.6.28付)を参加者へ配布。

新年会

平成18年 1月21日 (土) 開催 雪 寒

於 県道 一色 びーどろ亭 13:30 ~ 15:00
15名参加 (大人 8名 学生生徒 7名)

- ◎ 珍しく降雪の日。
- ◎ 中華料理、「福」コースで。

葛川をきれいにする会 会則

(名称)

第1条 この会は、葛川をきれいにする会（以下「会」という。）という。

(目的)

第2条 会は、主として葛川流域の環境の保全を計り、もって、二宮町およびその周辺地域の良好な生活環境の維持・推進に寄与することを目的とする。

(活動)

第3条 会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる活動を行う。

- (1) 葛川（その支流を含む。以下同じ。）の清掃・美化
- (2) 葛川の水質改善、水生動物調査、水質調査
- (3) 葛川の環境保全に関する学習および環境保全意識の普及
- (4) その他会の目的を達成するために必要な活動

(事務局)

第4条 会の事務局は、副代表宅に置く。

(会員)

第5条 会の会員は、正会員、賛助会員、準会員並びに家族会員を以て構成する。

- (1) 正会員は、本会の目的に賛同して、ボランティアとして活動する者とする。
- (2) 賛助会員は、本会の目的に賛同し、支援協力する個人・事業者・団体等とする。
- (3) 準会員は、本会の目的に賛同し、会の活動に自由参加するボランティアとする。
- (4) 家族会員は、一家族で複数名参加する場合、会費を払った者は正会員となり、それ以外の家族は家族会員とする。取扱は準会員に準ずる。（会費の徴収はしない、会員名簿に記載されない。）
- (5) 第6条に定める会費を、当該年度5月末日までに納入のない会員は、前年度末日を以て退会したものとす。

(会費)

第6条 会費は年額とし、正会員および賛助会員は、次に定める会費、賛助会費（以下「会費等」という）を支払う。

- | | | |
|----------|------|--------------------|
| (1) 正会員 | 会 費 | 年額 2,000円 |
| (2) 賛助会員 | 賛助会費 | 一口 1,000円とし、年額一口以上 |

会費等は、毎年4月に一括して支払う。ただし、活動年度の途中で入会した者は、入会時に一括支払う。

(役員)

第7条 会に次の役員をおく。役員の数には8名以上20名までとする。

- (1) 役員

代表役員（以下代表と言う）	1名
副代表役員（以下副代表と言う）	2名
会計担当役員	2名
一般役員	若干名
アドバイザー	若干名
会計監査	2名

- (2) 役員は、定時総会において正会員の中から選任する。役員は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- (3) 役員に欠員が生じた場合は、前項の規定に拘らず、定例会の決議により正会員の中から補充選任することができる。この場合、補充役員は、他の現任役員は、任期満了の時までとする。

(役員職務)

第8条 役員は、次のとおりとする。なお、役員は、組織を維持運営するために会の業務執行の責任者を定めたものであり、地位、権限を示すものではない。すべての会員は、会の依って立つボランティア精神に基づき、平等の立場で自発的使命感を発揮して、出来る者が出来ることを実行し、役員に依存せず役員職務負担の軽減に努めることに留意する。

- (1) 代表は、会を代表し会務を統括する。
- (2) 副代表は、代表を補佐し、代表に事故あるときは代表の職務を代行する。
- (3) 一般役員は、代表、副代表とともに会の運営を担う。
代表は、会に必要な事項を一般役員に委託・執行させることができる。
- (4) 会計担当役員は、会の経理を担当する。
- (5) アドバイザーは、必要に応じて役員会に出席し、会の基本的な企画および検討において助言することができる。
- (6) 会計監査は、会の会計を監査し、総会で報告する。

(総会)

第9条 総会は、定時総会および臨時総会とする。

- (1) 定時総会は、活動年度終了後、毎年1回、4月に開催する。
- (2) 臨時総会は、定例会が必要と認めるとき、または正会員の過半数の要求がある場合に開催する。
- (3) 総会は、開催時正会員の過半数の出席（委任状を含む。以下同じ。）を以て成立する。
- (4) 賛助会員および準会員は、オブザーバーとして出席し、意見を述べることができる。ただし、議決を要する事項に関しては、議決権を有しない。
- (5) 総会の決議は、出席正会員の過半数を以て決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
- (6) 総会は、代表が招集する。
- (7) 総会の議長は、総会において役員以外の正会員の中から選任する。
- (8) 総会の付議事項は次のとおりとする。
- ① 活動計画および収支予算に関する事項
 - ② 活動報告および収支決算に関する事項
 - ③ 第7条に定める役員を選任・辞任・解任に関する事項

- ④ 会の運営のために必要とする規則のうち、総会に付議すべき重要なものとして定例会が認めた規則の制定・改廃に関する事項
 - ⑤ 正会員の過半数により総会の付議事項とする要求があった事項
 - ⑥ その他定例会が必要と認める事項
- (9) 総会議事録には、議長および代表が署名する。保管は事務局とする。

(役員会)

第10条 会の基本的な企画検討を行うため役員会をもうける。

- (1) 役員会は、代表、副代表、会計担当役員および一般役員で構成する。
- (2) 役員会は必要に応じて代表が召集し、代表が議長となる。
- (3) 役員会では、総会の決議に基づいた事業の執行にあたるほか、総会に付議すべき事項及びその他必要な事項を協議する。
- (4) 役員会議事録を作成して、事務局が保管する。

(定例会)

第11条 活動を円滑に運営し、計画を実施するための協議活動機関として定例会を設置する。

- (1) 定例会は、会員全員を以て組織する。ただし、賛助会員および準会員は、議決を要する事項に関しては、議決権を有しない。
- (2) 定例会の議長は、代表を除く役員が順に当たる。
- (3) 定例会は、原則として、6、9、12、3月の第2土曜日の9時30分から11時30分まで開催する。
- (4) 定例会の決議は、出席正会員の過半数を以て決する。賛否同数の場合は、議長がこれを決する。
- (5) 定例会の付議事項は、次のとおりとする。
 - ① 総会開催に関する事項の検討・決議
 - イ. 活動計画案および収支予算案
 - ロ. 活動報告案および収支決算案
 - ハ. その他総会開催の目的事項
 - ニ. 総会開催の日時、場所
 - ② 活動の具体的な実施に関する事項の検討・決議
 - イ. 清掃作業の実施に関する事項（作業参加者、責任者の確認等）
 - ロ. 第7条第3項に定める補充役員の選任に関する事項
 - ハ. 第12条に定める専門部会の設置、改廃に関する事項
 - ニ. その他会の目的の遂行に関する事項
 - ③ 代表、各担当役員並びに専門部会からの月例報告およびその検討・承認
 - ④ その他定例会が必要と認めた事項に関する報告・協議・決定
- (6) 定例会議事録を作成して、事務局が保管する。

(専門部会)

第12条 会は、必要に応じて研究・調査・学習・実践のための専門部会を設けることができる。

(清掃作業)

第13条 会の主要な活動である葛川の清掃作業を次のとおり実施する。

- (1) 清掃作業は、原則として、3月から11月までの第1および第3土曜日の9時30分から12時まで実施する。
- (2) 雨天、強風および前日までの降雨その他の事情で作業が危険であるときは、作業は中止する。
- (3) 作業責任者は、活動記録を二部作成し、二宮町環境課と事務局に提出する。

(会計)

第14条 会計に関する事項を次のとおり定める。

- (1) 会の活動に要する費用は、会費等、寄付金その他の収入を以て充てる。
- (2) 会計年度は、活動年度と同一とする。

(活動年度)

第15条 会の活動年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(会則の変更)

第16条 この会則の変更は、總會又は定例会、役員会において決する。

付 則

(実施期日)

第1条 この会則は、平成14年(2002年)1月12日から実施する。

(会則の変更)

- | | |
|--|------------|
| 1: 第7条(1)の総務、広報、渉外、会計担当幹事1名を複数名に変更。 | 平成14年4月13日 |
| 2: 役員会設定ほか大幅変更。 | 平成15年4月12日 |
| 3: 第3条(2)、第4条、第7条(1)、第11条(3)、第16条を変更、
第5条(5)を新設、第8条(5)を新設し以下の号を繰下げ。 | 平成16年6月12日 |

以前の葛川のはたらき (1)

使用文献

池田精一郎氏著書

『大正初期の正月行事と元町地域の景観その変貌』

(この資料を使用する時は上記を明記してください)

上記著書からの一部抜粋である (編集委員)

参考

大正5年 = 西暦1916年

大正時代の堂面堰の自然フルドに於て 油粕二ヶ
昔から堂面に葛川を堰き止めた堰があった。この堰
は水車を回転させる為め作られたもので、堰の上辺
から東に向う水取が作られ、三ヶ位南下に曲り、葛川
と平行して南流し、田代川と合流する前、水車を回
した。この堰は丁度知足寺山(谷戸山)の東南端が葛
川と接する所に基盤下から二宮層(凝灰質砂礫岩)

(1)

が露出している堰き止めの横柱をまわると格好な場所である。堰止めのそばには二枚の長い厚い杉板が二枚並べて渡り、谷戸へ行く掛橋として重要な役割を果たしていた。いつ迄もなくこの堰によって固されていた水庫は米・麦・物の精製が行われ、二名の農家にとっては食糧止無くはならぬものがあった。この堰による堰き止められた水面は鏡のよ

う静かで自然の大きなプールであった。元町の子供等は夏になると此處を唯一の水泳場として利用し遊びに行く者が多かった。泳げない者は堰下の浅い所で深く練習をしたり、魚取り等をして遊んでいた。板の掛橋から川上に向かって直線が約五〇M位あったから板橋を一つ線として競泳をしたら。特に八月の夏休みに午前中から賑が塩海や中里の方から泳ぎに来る

(14)

子供もあつた。凡そ元所の子供等が泳げるやうに
 あつたのはこの堰のお蔭によるものが多くと思ふ。
 此にこの堰上には、や、鮒等が泳いだのが夏の夕方には無
 釣り取がだつた。大人と子供が不交この魚釣りの
 風情は奥ゆかしいものであつた。子供等の釣竿は竹
 藪から細竹を切り来たもので、釣糸は星の糸綿糸
 で、浮はキボガエを三センチ位に切つたものであつた。鮒

(15)

釣りの餌はサケの鱈を煮したもので、中にはアサの系
 子も使つてゐる者もいた。釣れた時にはサケの鱈を食
 べながら歸ると思つた。今の花月橋は下座三枚橋
 のある所にかけられ、昔の北新道からの入江までの
 道幅になつたやうと思われ、道路幅がなほなり
 直線化されたが、交通の便がよくなり、内輪や合衆
 は停定化された全く姿貌した。

大正5年頃の堂面堰景観図



堰止めの水が子供
其のボールと似た

池田精田画

堂面
入口

源進水庫への水の取入口

二枚の板橋
(大水の時
に流れて
止むよう
に對金で
なしてある)

以前の葛川のはたらき (2)

使用文献

池田精一郎氏著書

『大正初期の正月行事と元町地域の景観その変貌』

(この資料を使用する時は上記を明記してください)

上記著書からの一部抜粋である (編集委員)

原田堰と上川保、下川保水田 池田精一郎

(1) 南新道(秦野街道)にあたる向屋の前から葛川に
向て下へ行く六尺幅位の坂道がある。葛川に接する
所で直角的に曲って、原田橋があり原田と秦野街道を結
ぶ唯一の道となっていた。大正の初期頃は原田地域は殆ん
どが畑で家屋は峰岸山の麓に一列と並んだ景観だった。
畑一帯は砂質土で水は溜まりやすく、多く作られ麦などは今

生育が良くなった。原田橋は本造橋が火水が落ち時
を流失と通れなくなり、東海道線の鉄橋を渡つてな
板へ行つて、塩海や南新道等の往來とした。この
原田橋の北側に原田堰があった。(現在の商工会館の
北辺の葛川左岸に用水取り入れ口の跡が残つてゐる)
この原田堰は江戸時代に作られたものと思われ、それ
は新田五右衛門が中宮の万石堰に灌漑して水田開発が行

われ上川久保、下川久保地域がこの原田堰で水田化された
ものである。國鉄東海道線の土堤下に強固な土管が敷
設され、その土管を通じて灌漑用水が上久保から下川久保
に流れ、水田開発をし、三毛作地域となったことは勝負
前と同様である。従つて國鉄敷設以前からの用水路が
あつたことは明かである。今でも脇土の家の庭先の鉄路
土堤下にこの用水路の土管が残つてゐる。これは昔も語る

(4) 貴重な記念的変跡である。厚田堰の維持管理は
上川久保、下川久保の水田所有者及び耕作者と水車
経営者により行われていた。厚田堰の灌漑用水を使
つて水車も同じ厚田や塩浜方面(上、中、下所)の精米精
麦製粉等が行われ、食糧上の使命も果たして、
この灌漑用水沿は国鉄線土堤下を貫き、上川久保水田地
域の中央を東流して下所の片岡邸宅のそばで東海道を

横断して下川久保に入り、東海道に沿う土堤下を東流し
て葛川に挟まれた地域の水田を開墾していた。

然し宅地化建設という時勢の波によってこれらの地域は宅
地化され、特に二宮、荻野新集道敷とらるる上川
久保は者の姿を全消滅して一変して商業街となり、
下川久保は土地区画整理によって宅地化し、厚田地域は
一面の住宅地化とらられた。

(5)

聞かえ 『嚴島神社と鏡』

嚴島神社と鏡

二宮町の喜妻神社の祭神は「弟橘媛」で、
 神体は「櫛」ですが、この櫛は、西暦一一〇年ころのこと、景行天皇の皇子の日本武尊の船が、相模灘で暴风雨にあい、いまにも沈没しそうになったとき、生け簀となつて海の神の怒りを鎮めようと海中に身を投げた弟橘媛の持物で、それは、旧山西村梅沢の漁師の網にかつたものだといわれています。

その後、この漁師の網元の夢枕に立つた神が、
 「過日、網で曳き揚げた「鏡」が、いまは葛川上流の「泉」の湧き出る神社に安置されて



おる。貴重な品故、厚く
 信奉するがよい。
 と申されました。
 そこで登朝、網子
 を集めて昨夜の
 お告げを伝え、
 葛川流域一帯を限
 なく探させたところ、
 それは、北宮
 の「嚴島神社」、別名

「弁天様」であることが
 わかりました。早速神社に
 出向いた網元は、神主に事の次第を話して
 氏子になりました。そして、海財を寄附、
 鳥居や寶錢箱を奉納するなど、大変熱心に

奉仕していました。すると、近景になく連日
 鯛の大漁が続くので、網元は首をひねりなが
 ら、(嚴島神社の祭神は海の神だそうだから、
 豊漁はこの神様のお恵みなのかもしれない)
 と考え、それ以来、季節の新鮮な海の幸も
 供物に加えて供えるようになりました。

(後略)

小林様
 嚴島神社と海の関係を示
 興味深い話です
 野合

正会員名簿

	氏名	役員
1	新井 皓太	
2	五十嵐 一基	
3	池田 啓介	
4	石松 一彦	
5	今津 義夫	
6	門脇 義昭	
7	川上 清	
8	川崎 貴徳	
9	川崎 裕史	
10	川野 泰明	
11	桑田 恒男	
12	向後 孝明	代表
13	小林 弘	副代表
14	是竹 真太郎	
15	政金 聡	(会計監査)
16	関山 謙一	
17	高橋 恵子	
18	高橋 昇三	副代表
19	竹原 繁男	(アドバイザー)
20	田中 克己	(アドバイザー)
21	飛澤 洋子	
22	内藤 将志	
23	奈良 淑子	
24	西園 治雄	
25	野谷 悦	総務
26	橋本 直樹	
27	長谷川 芳男	
28	原 拓也	
29	平野 安	
30	平本 三男	
31	福岡 久義	
32	藤田 尚志	水質検査
33	藤原 幸子	会計
34	水谷 英子	
35	峯尾 正昭	(会計監査)
36	守屋 隆治	水生動物調査
37	八代航太郎	

賛助会員名簿

	氏名
1	(有)エイエスエイ タケハラ
2	(有)マツモト (工藤行雄)
3	赤羽興三郎
4	石塚 富士夫
5	市川 光佑
6	井手内 清
7	伊藤 洋子
8	川上 良子
9	小林 績
10	佐川 真一
11	佐藤 準
12	関谷 敏
13	原 昭一
14	松岡 史子
15	関谷 忠夫
16	横山 信義
17	小松 俊夫
18	山崎 等
19	池田 宏
20	原 東三

関 係 先

(第2号のつづき)

(敬称略)

職・氏名	住所・Tel, Fax 等	備考
湘南工科大学 社会貢献活動支援室 手塚 水澤	〒251-8511 藤沢市辻堂西海岸1-1-25 ダイヤルイン 0466-30-0000 事務0272 教務0274 学生0278 http://www.shonan-it.ac.jp/	
ラジオ日本ラジオウエスト (小田原放送局) 1485 kHz 制作担当 相田 悠希	〒231-8611 横浜市中区長者町5-85 Tel. 045-231-1531 Fax. 045-231-0253	『ふるさと酒匂川』 取材(電話で) H. 17. 11. 10
神奈川県平塚土木事務所 河川砂防部河川砂防第一課 課長 千々和 晴樹	〒254-0073 平塚市西八幡1-3-1 平塚合同庁舎内 Tel. 0463-22-2711(代表) 内線531 Fax. 0463-24-0488	
二宮町経済環境部環境課 課長 野崎 国治	〒259-0196 神奈川県中郡二宮町二宮961 Tel. 0463-71-3311 Fax. 0463-73-0134 e-mail kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp	
二宮町総務部地域推進課 広報広聴係 係長 松本 幸生	同 上 e-mail info@town.ninomiya.kanagawa.jp	

平成17年度決算書(H17/4~H18/3)

平成18年 3月 25日

葛川をきれいにする会
会計担当 藤原幸子

収入の部

項目	予算	実績	内訳
前期繰越金	261,967	261,967	
正会員会費	74,000	54,000	27名X2000円
賛助会員会費	34,000	45,000	21名分
町助成金	399,000	399,900	
寄付	10,000	14,892	ヤオハンより:11992 講演料:1800 記録集の配布:1100
利息	3	6	
収入合計	778,970	775,765	

支出の部

項目	予算	上期実績	内訳
会議費	20,000	15,900	総会通知はがき:11600、お茶菓:840、資料コピー:3460
広報費	5,000	17,254	ポラ連会費:3000、コピー:2780、昼食代:11474
事務費	20,000	3,825	コピー:450、はがき:2850、用紙:525
活動記録集	65,000	38,901	コピー・切手:2930、フィルム・写真代:4117、 色画用紙・テープ:21504、昼食代:10350
清掃作業			
作業用具	5,000	5,250	ハサミ:2100、ゴム手袋:3150
飲物	42,000	38,403	
交通費	25,600	1,100	
水質測定費	15,000	7,432	昼食代:5933、ガソリン:1499
水生動物調査費	10,000	5,946	昼食代:5032、ガソリン:914
水質浄化費	25,000	31,030	木炭:25000、ネット・杭:6030
積立金	400,000	400,000	数年後の支出費用として
その他	100,000	122,800	EM部会へ寄付:50000、図書券:2000、納涼会補填:35200 新年会補填:35600
小計	732,600	687,841	
次期繰越金	46,370	87,924	
支出合計	778,970	775,765	

監査の結果適性に処理されていることを認めます。

平成18年3月25日

峯尾正昭



平成18年度葛川清掃スケジュール

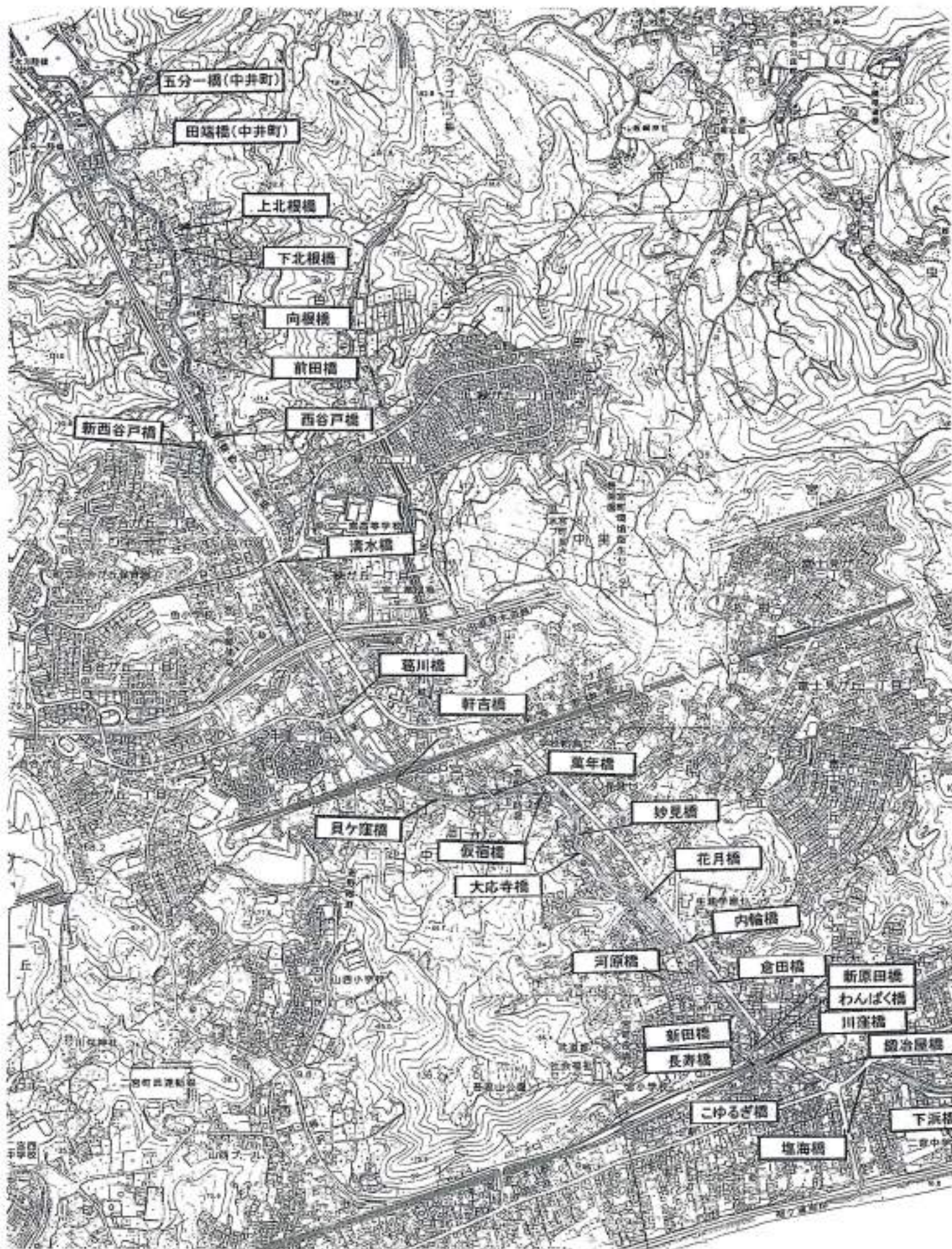
第1、第3 土曜日

18. 4. 1.	田端橋下	～	下北根橋	間
18. 4. 15.	下北根橋	～	前田橋	間
18. 5. 6.	前田橋	～	新西谷戸橋	間
18. 5. 20.	小田厚道下	～	葛川橋	間
18. 6. 3.	葛川橋	～	軒吉橋	間
18. 6. 17.	軒吉橋	～	万年橋	間
18. 7. 1.	万年橋	～	妙見橋	間
18. 7. 15.	妙見橋	～	花月橋	間
18. 9. 2.	花月橋	～	内輪橋	間
18. 9. 16.	内輪橋	～	新田橋	間
18. 10. 7.	新田橋	～	鍛冶屋橋	間
18. 10. 21.	鍛冶屋橋	～	塩見橋	間
18. 11. 4.	塩見橋	～	下浜橋	間
18. 11. 18.	下浜橋	～	町境	間
19. 3. 3.	新西谷戸橋	～	清水橋	間
19. 3. 17.	清水橋	～	小田厚道下	間

(8月、12月、1月、2月 4ヶ月休み)

計16回

★ 雨天は中止とする。 (予備、延期 はなし)



葛川をきれいにする会

活動記録集 第3号

平成18年3月 発行

編集委員

向後 孝明	代 表
野谷 悦	総務担当役員
藤田 尚志	調査担当役員
小林 弘	副代表・事務局

製本協力

門脇 義昭 会 員	藤原 幸子 会計役員
川崎 貴徳 会 員	政金 駿 会計監査
是竹真太郎 会 員	峯尾 正昭 会計監査
八代航太郎 会 員	

会・事務局

神奈川県中郡二宮町富士見が丘2-12-25

小林 弘 宅

Tel. 0463-72-3906 (小林 弘 宅)

Fax. 0463-72-3767 (向後 孝明 宅)

葛川にかかる橋 (二宮町内)

上北根橋

(上流から)

下北根橋

向根橋

前田橋

西谷戸橋

新西谷戸橋

清水橋

葛川橋

軒吉橋

万年橋

仮宿橋

貝ヶ窪橋

妙見橋

大応寺橋

花月橋

内輪橋

河原橋

倉田橋

新田橋

新原田橋

わんぱく橋

長寿橋

川窪橋

鍛冶屋橋

こゆるぎ橋

塩海橋

下浜橋

この他に通路が2本ある

葛川憲章

1. 葛川を蘇らせるための清掃とあわせて、町民の「川をきれいにする」という意識を育みます。
2. 失われつつある葛川の自然環境の復元と水質保全をはかります。
3. 「水のある風景」としての葛川を守るために街並みや景観の保全に努めます。
4. 誰でもが水遊びのできる、きれいで安全な川としての親水性を考えます。
5. 「川は財産」と考え、町民に広く呼びかけて基金を設立し、維持管理など財産をまもるための活動を支えます。